

2019年2月9日(土)に大阪大学生協で第1回エリア学生委員会を実施しました。
エリアから8会員21名に参加していただき、分野の理解や新学期・総代会・春セミナーの議論、活動交流の時間を設けて話し合いました！

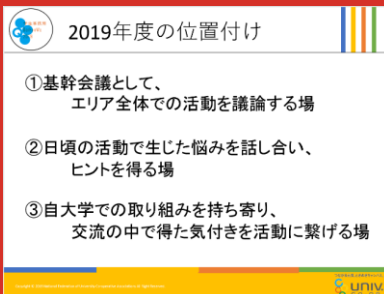
00 エリア学生委員会とは

2019年度の立ち位置

エリア学生委員会は学生委員と学生事務局がともにエリアに関することを考える基幹会議です。本年度は

- ①基幹会議として、エリア全体での活動を議論する場
- ②日頃の活動で生じた悩みを話し合い、ヒントを得る場
- ③自大学での取り組みを持ち寄り、交流の中で得た気づきを活動に繋げる場

と位置付け、年4回の開催を予定しています。



大兵和エリアに属するみんなが方向性を統一することができる場であることを確認しました。

01 アイスブレイクの時間

すごい！すごい！すごい！

グループ討議を活発化させるためにアイスブレイクをしました。自己紹介をした後に【自分の成功体験】を共有して班のみんなで「すごい！」というワークをしました。声をしっかりと出すことで意見を言いやすくするだけでなく、自己肯定感をあげることに繋がりました。自己肯定感をあげることで今後の時間への意欲にもなったかと思います。



想像以上にほとんどの人がすごい！ことを体験して、その後の話題に繋がりました。

02 推進/共通分野の時間

担当者の想いをみんなで確認しました

「組合員のより良い生活」に近づくために本年度は7つのエリア推進分野と2つのブロック共通分野を設置しました。それぞれの担当者の想いをみんなで確認して、ワークを通して理解を深めました。



現状を捉えながら理想に達するにはどうするのかをグループで考える機会となりました。

03 新学期の先を見る時間

新学期は2～3月が本番ではない！

この時間では新学期後の新入生との関わり的重要性や新学期活動後の自分たちの成長の姿を考えました。最後には「宣言シート」を記入してもらい、今回の新学期時期が終わった後の自身の理想の姿を明文化しました。

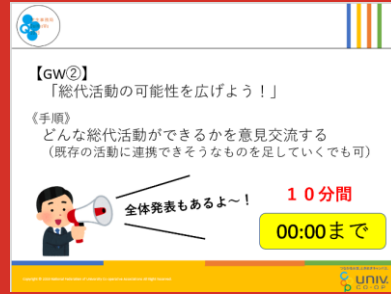


「イキイキ意義ある新学期」は日常活動にも大きく影響してくるので「こうなりたい！」という意識を持ってもらえた。

04 総代会に向けて 考えようの時間

早めに動き始めよう

担当者から本年度のポイントである「職員との連携」「総代との可能性を広げる」の確認があった後にそれぞれワークをしました。まず現在、自大学で実施している職員との連携を共有し、総代との可能性を広げる時間では既存の活動に総代を巻き込んでいくためにはどうしたらいいかを考えました。



組合員参加を増やしていくためにスタートにもゴールにでもなる総代会の重要性に気がきました。

05 春セミナーの時間

新入生の学びに必要な要素って？

5月に開催予定の春セミナーに関する時間を設けました。この場が基幹会議であることから新たなエリアの仲間になる新入生にどのような学びが必要かを、学生委員の先輩である工学委参加者と一緒に考えました。ここで出た意見をもとに春セミナーのコンテンツを練っていきたいと思います。



06 活動交流の時間

自慢の活動あつまれ～

本年度のエリア学生委員会ではこの時間を設けていきたいと考えています。活動交流によって自大学の魅力を再認識でき、他大学の魅力も発見することができるため、次の活動へのモチベーションになると考えています。そして更なる活動への発展にも繋がるでしょう！



07 自大学の時間

自大学できちんと実行しよう！

当日の学びや発見をきちんと自大学で報告して、実際に行動できるように作戦会議を大学ごとに分かれて、作戦会議をする時間を設けました。大学ごとに話し合うことによって自大学の現状を捉えた上で話し合うことができます。また次回エリア学生委員会までに実行することを記入したので、持ち帰りがしやすくなったと思います。

